

- ・日時：令和2年4月4日（土）18：50～
- ・場所：県庁本館ドーム会議室

○副本部長(八矢副知事)

ただ今から、愛媛県新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催いたします。初めに、副本部長である知事からあいさつをお願いします。

○本部長(知事)

先程、記者会見で発表しましたが、内子高校の教諭の方が、今日陽性反応の確認がされましたので、公表しました。県関係の職員ということで、我々全員が申し訳ないという気持ちを共有しなければならないというふうに思います。そして、これまでずっと、連日連日注意喚起を県民の皆さんにお願いすると同時に、県関係の職員に対しましてもかなり細かく指示を出していましたが、それでもこうした事態が発生したという事を重く受け止めなければなりません。後で指示を出しますが、なお一層の緊張感とそれから、反省をした上での注意喚起のさらなる要請ということに動いていただきたいと思います。

本当に県民の皆さんに申し訳ないという思いでいっぱいではありますが、今回は9事例目になります。我々の方針は、一つ一つの事例をきちんと分けながら、その単位ごとに封じ込め策を徹底してやるということに徹していくために、この前、東京ではですね、こちらの感染源と思われる方の状況について、東京の保健所に連絡しましたが、発症していないという事で何もしない、というのが方針だそうではありますが、我々はそういうことはしません。ともかく、法的な義務はありませんけれども、一人感染者が出たら速やかに濃厚接触者を把握して、濃厚接触者の検体採取をお願いします。これは、ご本人の健康のため、そしてまた、感染を封じ込めるためという事でご理解をいただいて、ほとんどの方が応じていただいていますので、そして、これを一つ一つ封じ込めをしていくことによって、こういう状況だからいつどこでという事は分からない、今後も出てくる可能性ありという事で、忙しくなりますから、県民の命を守るために全力を尽くしていきたいと思いますので、各部局、緊張感を持って当たってください。以上です。

○副本部長(八矢副知事)

ありがとうございました。次に、今回の感染等の概要について、私から説明をさせていただきます。プレスリリースの資料をご覧ください。

感染者の概要は50代男性、住所地は松前町、職業は内子高等学校勤務でございます。2の症状・行動歴等でございますけれども、27日から31日まで土日と有給休暇を利用いたしまして、私用で横浜市に旅行と。この横浜市に行ったこと自体は、ある程度やむを得ない事情があったのではないかなと推察されます。横浜市内でホテル、あるいは市内に滞在、知人等に面会した後、31日に帰県しております。戻ってから松前町の自宅に一瞬、寄って

はおりますけれども自宅には入らず、そのまま内子町の自宅まで移動しております。4月1日、2日と学校で勤務した後、部活動の指導に従事しております。この間、特に上司等には報告はしていないという事でありました。3日、学校に出勤しましたが発熱があり、上司にその時点で横浜市に滞在したということ報告したと、横浜市から帰ってきて、特に体調等に変化がなかったため問題ないだろうという自己判断であった、というふうに承知しております。その後、上司の指示で自宅待機、帰国者・接触者相談センターに相談、医療機関を受診して、検体を採取して、検体確保と、陽性になったというふうに聞いております。以上が事案の概要でございます。その他、教育長からコメントがあればお願いいたします。

○本部付(教育長)

一言お詫びを申し上げたいと思います。この度、内子高等学校の教諭が新型コロナウイルスに感染し、生徒・保護者はもとより、地域の方々、県民の方々、さらには、今日お集りの各部の皆様方にも多大なご迷惑をおかけし、信頼を大きく損ねる運びとなってしまいましたことは、大変申し訳なく、教育長として心よりお詫び申し上げたいと思います。

県教育委員会では、今回の事態を大変重く受け止めております。急ぎまして、再発防止策を取りまして、今後一層、教職員の行動ルールの運用を厳格にしまして、二度とこういうことが起こらないように努めて参りたいと思います。この度は本当に申し訳ありませんでした。

○副本部長(八矢副知事)

先ほど、記者会見でも教職員ではありますが、県職員として水際対策の徹底等を県民の皆さんに呼びかけ、企業の皆さんに呼びかけている中で、こうした事態が起きたという事で知事からも深くお詫びを申し上げたところでございます。また、これまでの外部から感染の持ち込みを防ぐための対策として、職員の人事異動に伴う取り扱い、あるいは出張等の自粛要請、それから、仮に感染拡大地域を訪問した際の留意事項等については、これまでお示ししてきたとおりでございますので、机上に配布させていただいております。その他、今回の件について、ご質問・ご意見等ございますでしょうか。なければ、知事から指示等お願いします。

○本部長(知事)

まず共有しておいてもらいたいのは、冒頭で申し上げた症例ごとの封じ込めの状況ですが、この状況を共有しておいてください。まず、クルーズ船感染関係者は、もうすでに健康観察が終了しているという事で、何もなければ感染拡大の心配はない。

1事例目、愛南町から始まっていますが、3事例目までも同様に、濃厚接触者の陰性確認と健康観察期間2週間も終了していますので、クルーズ船下船者と同様に感染の心配はほとんどないと。

4事例目は、新居浜市の学生、京都産業大学の関係ですが、こちらは4月9日をもって

2週間の健康観察期間を終了いたします。その他に感染の拡大も見られないことから、今の時点で症状も出ていないということでございますので、ほぼ1から4事例目は落ち着いたというふうに見ています。

それから、5事例目が今やっている集団感染であります。これについては、二次感染が発生しましたが、施設内においては、ほぼ把握できて完全に待機状態になってますので、ここは食い止められると思います。二次感染のお二人について、一人の施設の職員の関係者、濃厚接触者は職員や出入り業者を含めて26名、今日、全員陰性が確認できましたので、ここは一安心ですが、もう一人の、施設の入居者を訪問している方についての濃厚接触者が5名いらっしゃいます。こちらについては、まだPCR検査これからになりますので、ここが全員もし陰性であるならば、大体封じ込めのゴールが見えて来ると思います。ただ、ここでもし5名の中に陽性の方が一人でもいらっしゃった場合は、そこからまた濃厚接触者の調査をかけていかなければなりませんので、まだ1から4事例目までという状況ではありません。

6事例目は、大体、感染者把握できているので、ご本人以外は濃厚接触者の陰性確認、それから、完全に自宅待機の状態になっていますので、封じ込められている状態です。

それから、7事例目の松前町関係者、アメリカから来た方ではありますが、ご家族は感染が確認されましたけれども、会食に参加していた、その他の方々は、全員陰性の確認が取れていますので、こちらも、ご家族の方々としっかりとフォローすることによって封じ込めが可能と思います。

それから、8事例目の新居浜市の50代の男性、転勤で愛媛県に来られた方で3月末に来られて、そんなに日が経ってないですから、濃厚接触者がいないというふうなことで、ご夫婦は東京から愛媛まで二人で車を運転して来県されていますので、長時間いらっしゃったという事もある陽性という事ではありますが、速やかに病院に入ってくださいますので、封じ込めが可能と。

それから、9事例目が今日の内子町の教諭であります。ここは、先ほども発表しましたが、内子高校だけは、念のため2週間学校の再開を遅らせると、さきほど、内子町長と話したんですが、小・中校については、きっと同様の方向で検討すると、もう発表されているかもしれませんが、特別な対応をとるという事で、ここは何が何でも早めの対応を取って封じ込めるという事に全力を挙げたいというふうに思います。

その他、お医者さんの方からあがってきているものは、全部、検体検査を行っています。全て陰性でございますので、県内で持ち込まれた場合を除いて、感染が拡大している状況にはないだろうということは変わっていない。その辺は冷静に受け止めて、単に陽性判定者の人数だけに目を奪われると判断を誤りますので、特に全部長、今申し上げたようなことは、言えるぐらい把握をしておいていただきたいというふうに思います。以上で状況の共有について、お願いしたいと思います。

次に、外部からこういう状況ですから、東京首都圏や関西圏は、異常な事態になっている可能性があるのかなと考えざるを得ません。というのは、アメリカの方については、どう考えても感染を持ち込まれた可能性が高いのではないかと愛媛県は判断しましたので、

東京特別区の保健所にその旨を幾度となく伝えて、愛媛県は検体採取して調査した方がいいのではないか、健康観察した方がいいのではないか、という要請をしましたが、これは自治体毎に対応が違いますので帰ってきた返事は、発症していないので何もしない、という事だったというわけであります。ということは、そういう形で生活されている方が、たくさんいらっしゃるというふうに判断せざるを得ない。ということは、我々が思っている以上に、異常に、大変な状況に首都圏等々あるんだらう、確かに今回も行って帰ってきて発症とかそういうケースが続いていますので、より一層我々が水際作戦に注視をしなければならぬと同時に、既に指示は出していますけれども、こうした所への出張等々、これは県民の皆様や事業者への呼びかけも含めて注意喚起をさらに促さなければならぬというふうに思っています。

これまでも、人事異動や新規採用のこうした感染拡大地域から転入する職員に対して、愛媛県では帰県後2週間、テレワーク・在宅勤務・自宅待機・健康観察を実施するという事を各それぞれの部署の団体等々に県の方針を参考にして、これ義務ではありませんけれども、是非取り組んでいただきたいという事を要請しているところであります。また、4月1日には、出張・旅行の自粛。こうした感染拡大地域ですね。それから、もし、やむを得ない事情で行った時の注意喚起、そして、戻ってきてからの対処、こういった事を要請したところであります。こうしたことについて、全ての職場で、これまで講じてきた感染拡大防止策の再徹底を部長の責任で行ってください。

そして、新たに5つの事を考えていただきたいと思えます。

まず、首都圏や関西圏等の感染拡大地域や、特にこれらの地域で密閉空間・密集場所・密接場面、この3つの密が疑われる場所を職員がこの時に訪問していないかどうか、再度確認をしてください。

2つ目、上記地域・場所を訪れる職員については、公私を問わず訪問前に職場に報告するように体制を整えてください。

3つ目、上記地域・場所を訪問後は、移動手段も含む行動経路や訪問場所を報告してもらいようにしてください。

4つ目、これはそれぞれの上司判断に委ねます。その中身を見て、必要と判断した場合は、テレワーク等による在宅勤務や自宅待機、これは上司が指示すること。部長、責任を持って、緊張感を持って対応をしてください。それから、その結果は、必ず報告してください。

最後5つ目、在宅勤務や自宅待機を指示しない場合でも、「もしかしたら感染しているかもしれない」との認識は持ち続けて、不特定多数との接触を控える、近い距離で人と話すのを避けるなどの必要な指示は行ってもらいたいと思えます。特に、少しでも体調に異変を感じた場合は直ちに職場に連絡をさせるように指示をしてください。

そして、この事について、企業・団体の皆さんにも同様に、こうした事を県は指示出しましたという状況を、速やかに連絡をしていただきたいと思えます。土曜日、日曜日なんですが、申し訳ないけれども、限られた人数で出来ると思えますので、ペーパー作って、今までやったとおり、それぞれの部署の関係団体に送る作業ですから、明日中にやってく

ださい。県の関係者が発症したという事もありますので、明日中に必ずやるようにしてください。以上です。

○副本部長(八矢副知事)

ありがとうございました。文書は、本日中に作成いたします。本日から着手して明日中にお送りいただくようお願いいたします。それから、それぞれ上司の指示で必要な対応を個別に命じていただきたいという事ですが、ある程度の目安はですね、例えば、過去の事例でクラスターが発生したような場所がどういった場所なのか、あるいは混雑した店舗がどうなのか、あるいは、各県知事、首長が、それぞれの圏域の方に対して、例えば、東京都知事は、接待を伴う飲食は自粛してくれという話もしておりますし、夜間の外出を控えてくれというふうに呼び掛けている知事もいらっしゃいますし、それぞれ訪問先の自治体の長が、どんな呼びかけをしているのか、それは滞在した、訪問した職員に対してもですね、戻ってから同じようなレベルの行動制限を指示するという事もあると思いますので、そういった事も参考にされて、それぞれの職場でご判断いただければというふうに思います。以上のことは、参考として、また保健福祉部から各部の方に伝えさせていただきます。

その他、何か今回の指示の関係でご質問等ある方いらっしゃいますでしょうか。なければ以上で、愛媛県新型コロナウイルス感染症対策本部会議を終了いたします。散会してください。